



太陽の子

さいたま市立常盤小学校だより
令和7年度11月号（第8号）
令和7年10月31日発行

【学校の教育目標】

心身ともに健康で 思いやりの心をもち 主体的に学ぶ常盤っ子の育成

学校は 「勉強をするところ」「友達と仲良くするところ」「安心・安全なところ」

【めざす児童像】

- よく考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子
- かかわりあいを大切にする子

読書のすゝめ

校長 藤田 昌一

本校では、11月4日～28日を「読書月間」とし、様々な取組を行います。

- 本の貸出冊数の増（一人3冊）
- 読書の木（子どもたちのお気に入りの本を紹介）
- 親子読書の木（本の読み聞かせ等、親子で読書に取り組んでいただく機会）
- 先生方おすすめの本（教職員のお奨めの本を紹介）
- 図書委員会の活動（おすすめの本のポップ作成など）
- コラボ給食（本にちなんだ給食メニュー、ヨムヨムサポーターさんとの会食）…

私も、校長講話の時間を利用して、読み聞かせを行う予定です。

*

さて、令和6年度、足のケガで外出が少なかったこともあり、私は110冊を超える読書ができました。（業務上必要な文献や、引用・参照のために開いた本を除く）

- 今野敏（12冊）…『隠蔽捜査』『内閣匿名班』『ST』シリーズなど
- 中山祐次郎（8冊）…『泣くな研修医』『俺たちは神じゃない』シリーズなど
- 東川篤哉（5冊）…『谷根千ミステリ散歩』『新 謎解きはディナーの後で』など
- 七尾与史（4冊）…『ティファニーで昼食を』『偶然屋』など
- その他、東野圭吾、道尾秀介、柿谷美雨、鷺田哲也、立川志らく、藤ノ木優、群ようこ、林真理子、原田マハ、内館牧子、宮島未奈、武田綾乃…

最近は、疲れ目がひどく、プライベートで読む本は、簡単に読める小説やエッセイが中心になっています。では、これらの本の内容を覚えているか？他の人に紹介できるか？と問われると、心もとないものがあります。内容を忘れてしまうのであれば、最初から本を読む必要などないのではないかとも思ってしまいます。

*

筑波大学の落合陽一准教授は、著書『忘れる読書』の中で、次のように述べています。

本の内容は覚えるな、むしろ忘れよう

また、多読についても、次のように述べています。

人生のある時期には「ひたすらたくさん読む」という多読期を経ることも、大切だと思います。

本の内容を覚えていない、知識として残らないなどと気にする必要はないようです。「読書月間」をきっかけに、たくさんの本に触れることができるよう願っています。